

# 2019年9月期決算 会社説明会

2019年12月11日

山口フィナンシャルグループ



# 目次

## 2019年度中間決算について

- 1) 2019年度中間決算概要(連結)	4
- 経常利益増減要因(連結)	5
- 中間決算概要(銀行単体)	6
- 2) 貸出金①	7
- 3) 貸出金②	8
- 4) 与信費用・不良債権	9
- 5) 役務関連収益	10
- 6) 有価証券	11
- 7) 自己資本比率(連結・銀行単体)	12
- 8) 2019年度通期業績予想(連結)	13

## 中期経営計画の進捗

- 中期経営計画のビジネスモデル	15
- 金融モデルの“SHINKA”	16
- 地域共創モデルの確立	24
- 銀行店舗・チャネル	29
- 政策投資株式/配当	32

## 参考資料

34

# 2019年度中間決算概要

# 1) 2019年度中間決算概要(連結)

(億円)	2018年度	2019年度	前期比
	中間期	中間期	
<b>コア業務粗利益</b>	<b>528</b>	<b>455</b>	<b>▲ 73</b>
<b>資金利益</b>	<b>458</b>	<b>418</b>	<b>▲ 40</b>
<b>うち預貸金利益</b>	353	355	+1
<b>うち有価証券利息配当金</b>	115	83	▲ 32
<b>役務取引等利益</b>	<b>78</b>	<b>64</b>	<b>▲ 13</b>
<b>経費 (△) (臨時処理分除く)</b>	<b>361</b>	<b>350</b>	<b>▲ 11</b>
<b>コア業務純益</b>	<b>167</b>	<b>105</b>	<b>▲ 62</b>
<b>経常利益</b>	<b>191</b>	<b>184</b>	<b>▲ 6</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>130</b>	<b>128</b>	<b>▲ 2</b>

<b>与信関係費用 (△)</b>	<b>21</b>	<b>62</b>	<b>+41</b>
<b>経費 (△) (臨時処理分含む)</b>	<b>362</b>	<b>349</b>	<b>▲ 13</b>
<b>有価証券関連収益</b>	<b>153</b>	<b>214</b>	<b>+61</b>

## 決算概要

- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は、128億円となり、前年同期比▲2億円
- ▶ 主な要因
  - ・ 与信費用の増加(+41億円)
  - ・ 役務取引等利益の減少(▲13億円)
  - ・ 有価証券関連収益の増加(+61億円)  
(内訳)
    - ・ 利息配当金(▲32億円)  
(うち投資信託解約益の減少 ▲24億円)
    - ・ 売買損益等(+93億円)

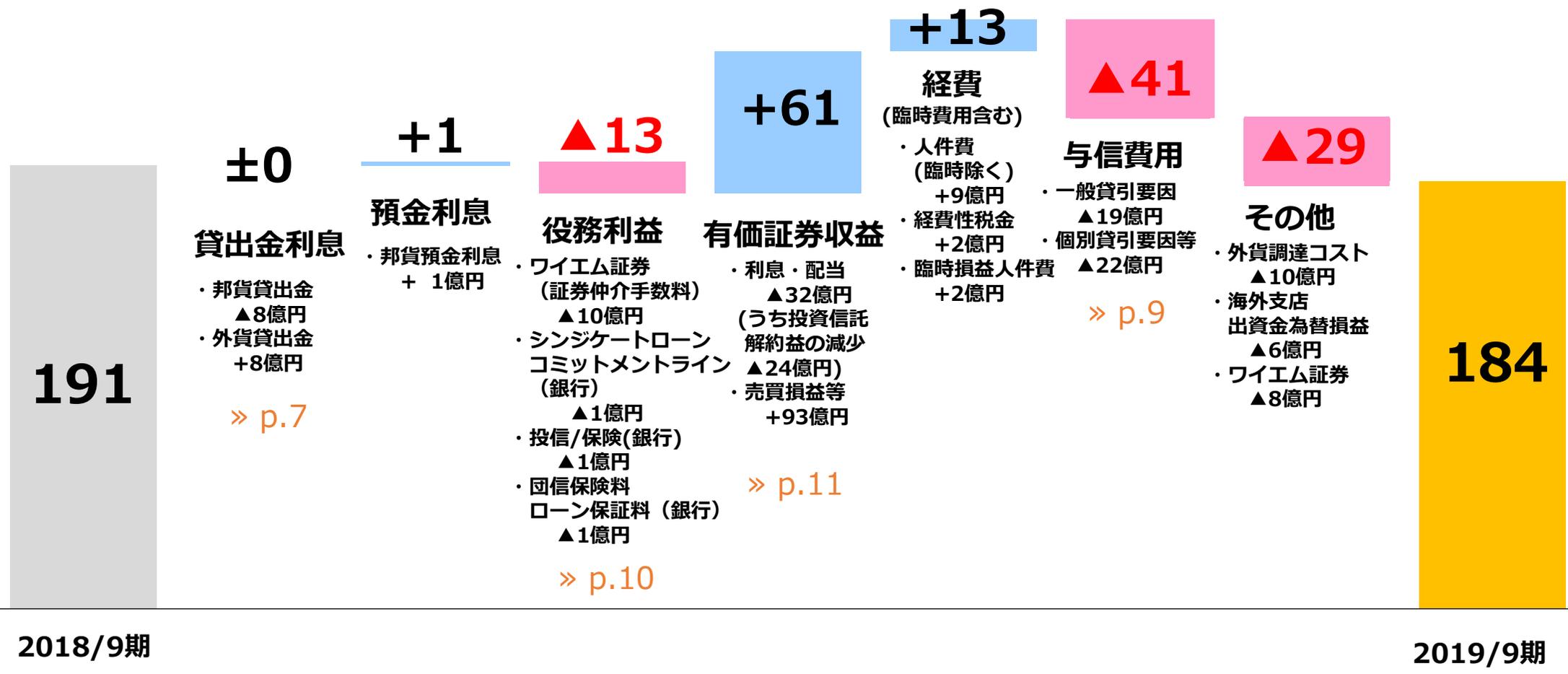
## 連単差

<b>3行合算中間純利益</b>	<b>167億円</b>
<b>のれん償却費</b>	<b>▲1億円</b>
<b>FG連結調整等</b>	<b>▲38億円</b>
<b>YMFG連結中間純利益</b>	<b>128億円</b>

# 2019年度中間決算 経常利益増減要因(連結)

» 貸出金、役務、有価証券、与信費用については各ページに詳細記載

(単位:億円)



## 2019年度中間決算概要(銀行単体)

» 山口銀行ともみじ銀行で与信関係費用が増加、役務取引等利益が減少

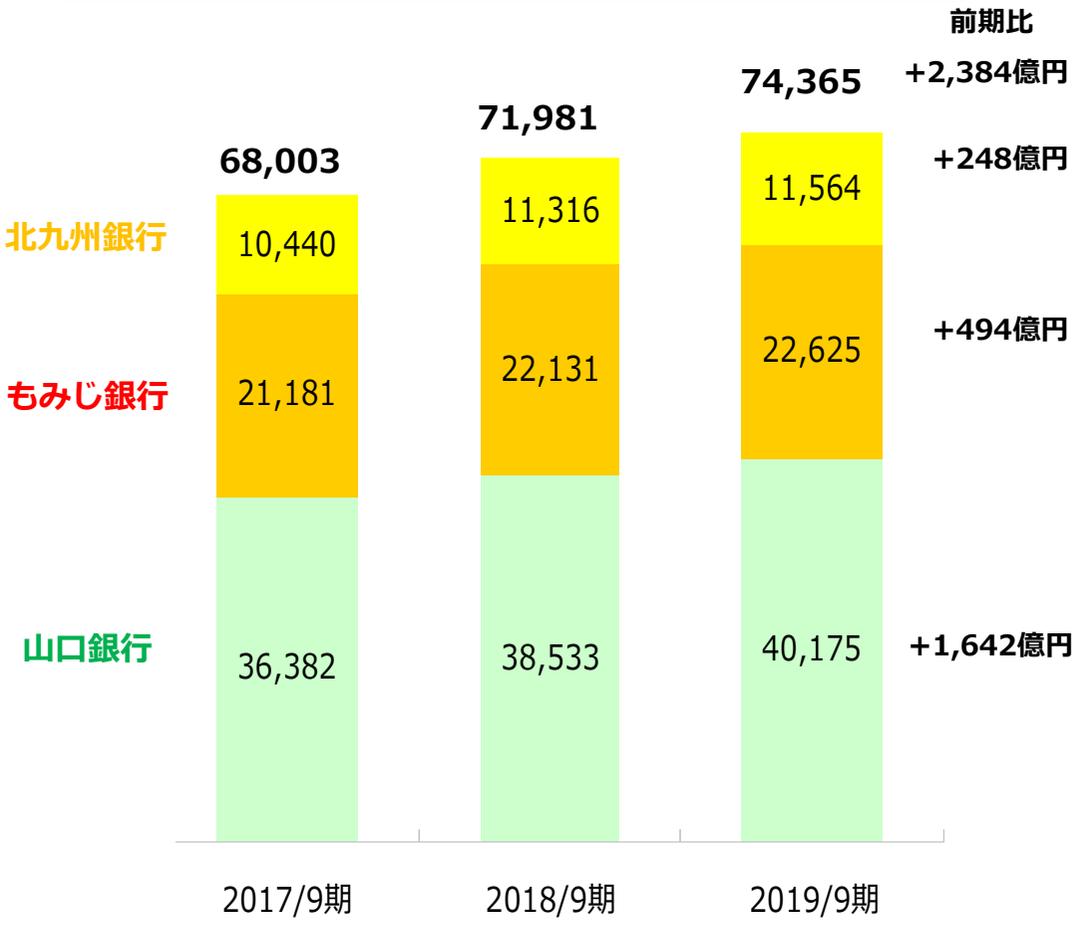
(億円)	3行合算		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前期比		前期比		前期比		前期比
コア業務粗利益	414	▲ 62	222	▲ 42	133	▲ 20	57	0
資金利益	423	▲ 39	241	▲ 24	127	▲ 16	55	+0
うち預貸金利益	357	+1	191	+1	111	+0	54	+0
うち有価証券利息配当金	83	▲ 32	60	▲ 15	19	▲ 16	3	+0
役務取引等利益	34	▲ 13	24	▲ 9	9	▲ 3	1	+0
経費 (△) (臨時処理分除く)	274	▲ 15	139	▲ 4	98	▲ 9	37	▲ 1
コア業務純益	139	▲ 47	83	▲ 37	35	▲ 11	20	+1
経常利益	221	+10	167	+25	36	▲ 10	17	▲ 3
当期純利益	167	+10	123	+18	30	▲ 5	13	▲ 2

与信関係費用 (△)	60	+41	29	+12	26	+24	3	+5
経費 (△) (臨時処理分含む)	273	▲ 17	137	▲ 5	97	▲ 11	38	▲ 1
有価証券関連収益	214	+63	165	+57	46	+6	3	+1

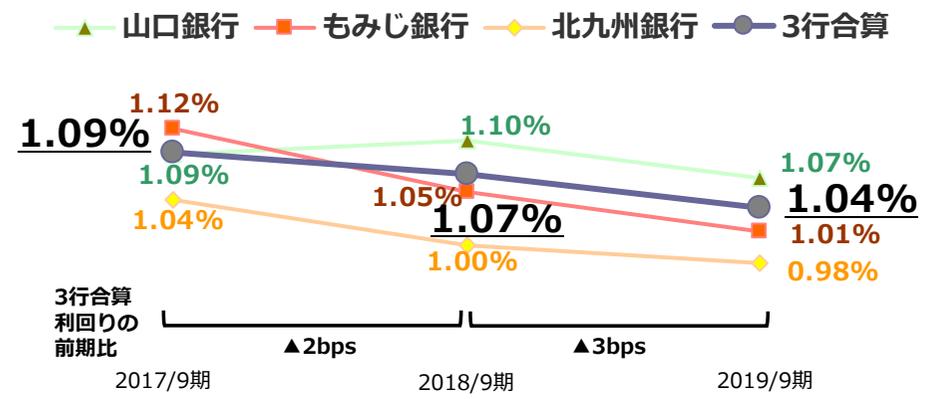
## 2) 貸出金①

- » 貸出金利回りは、邦貨貸出金利回りの低下幅縮小続くも、外貨貸出金利回りの金利上昇鈍化により全体では低下
- » 3行合算の貸出金利息額は、利回りの低下を残高増加によりカバーし前年同期比±0億円

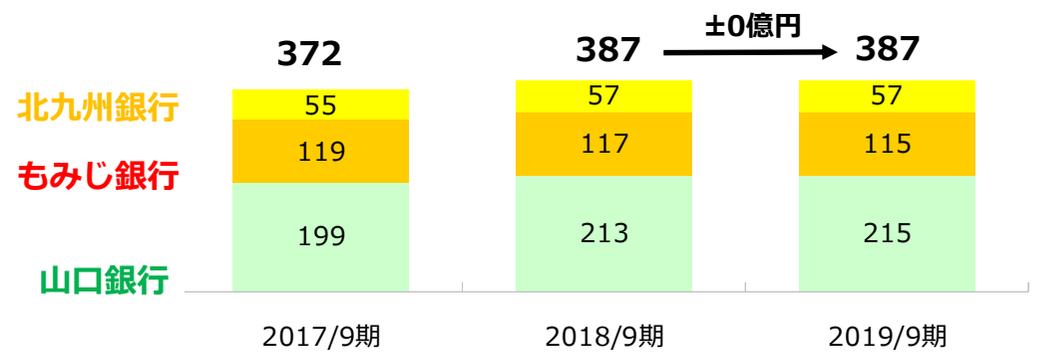
貸出金残高(平残/銀行別) (単位:億円)



貸出金利回り



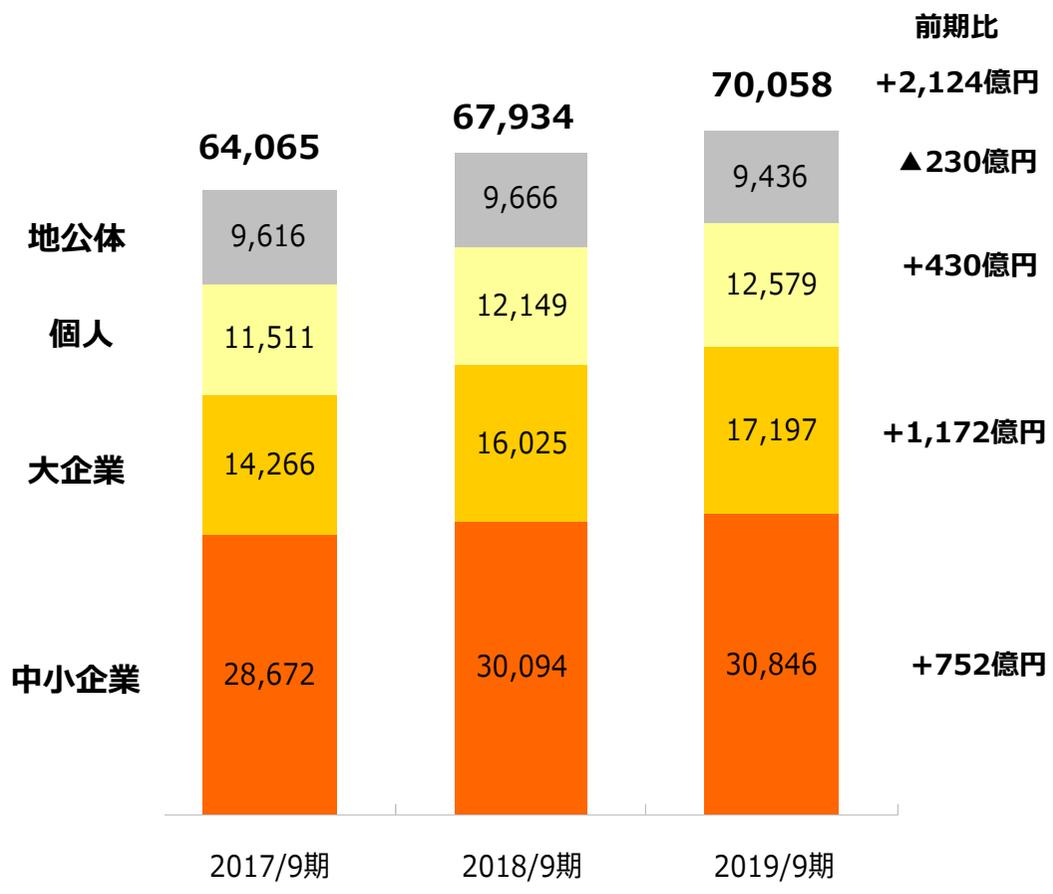
貸出金利息(3行合算) (単位:億円)



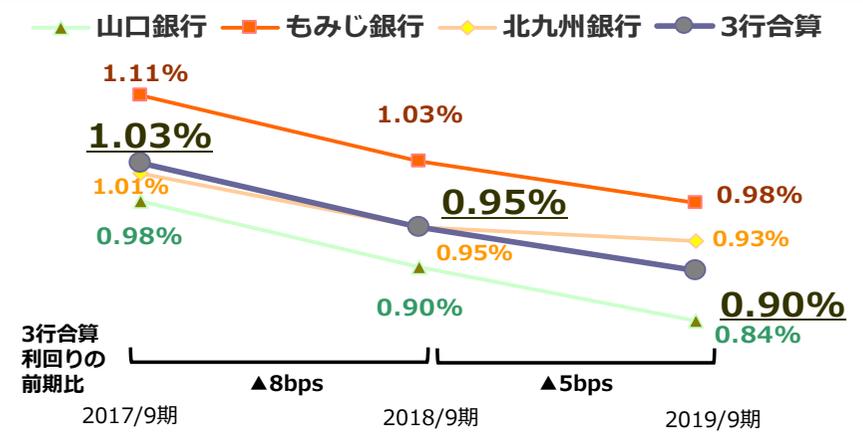
### 3) 貸出金②

- » 中小企業、大企業中心に貸出金残高は増加するも、利回りの低下により邦貨貸出金利息は減少
- » 邦貨貸出金利回りの低下幅は縮小傾向にある

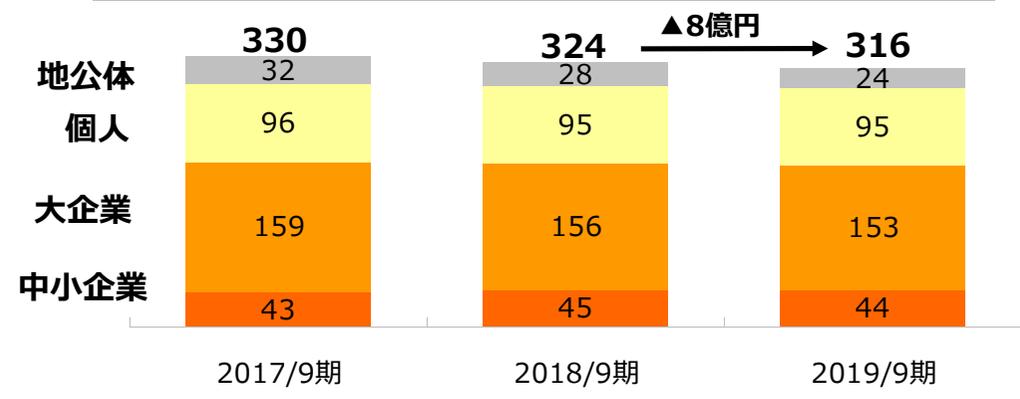
**邦貨貸出金残高(平残/事業体別)** (単位:億円)



**邦貨貸出金利回り**



**邦貨貸出金利息(3行合算)** (単位:億円)

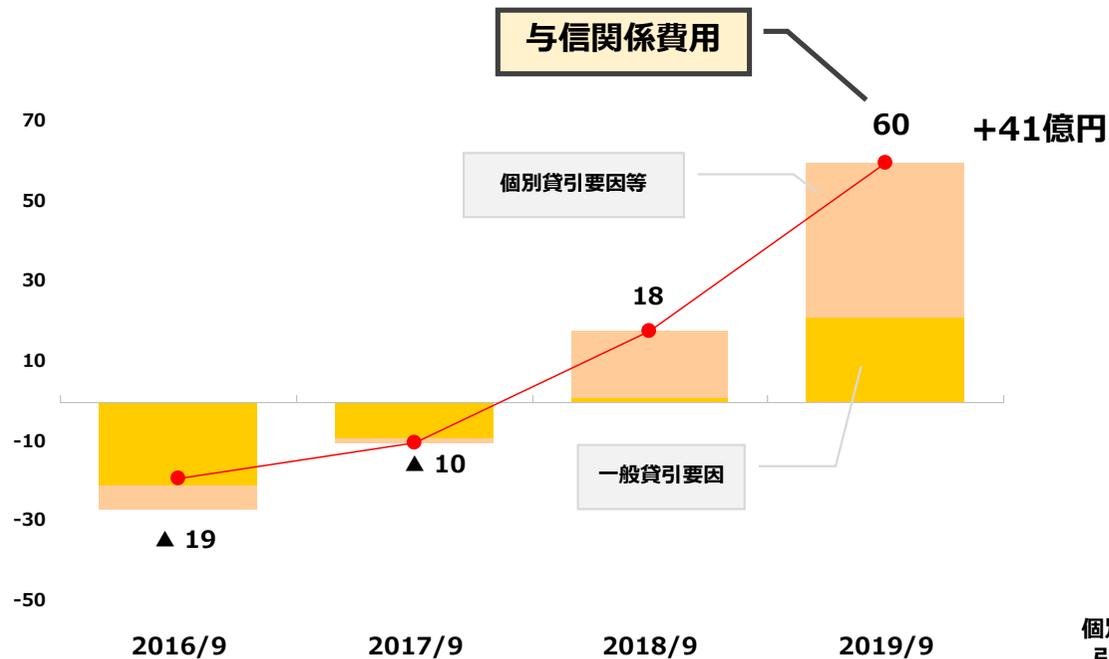


# 4) 与信費用・不良債権

- » 与信関係費用(3行合算)は+41億円の増加
- » 金融再生法開示債権残高は2019/3期と同水準を維持

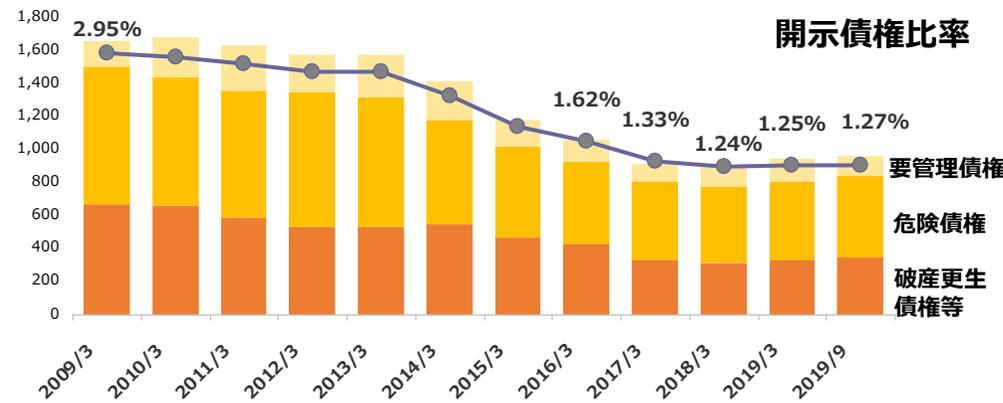
与信関係費用(3行合算)

(単位:億円)



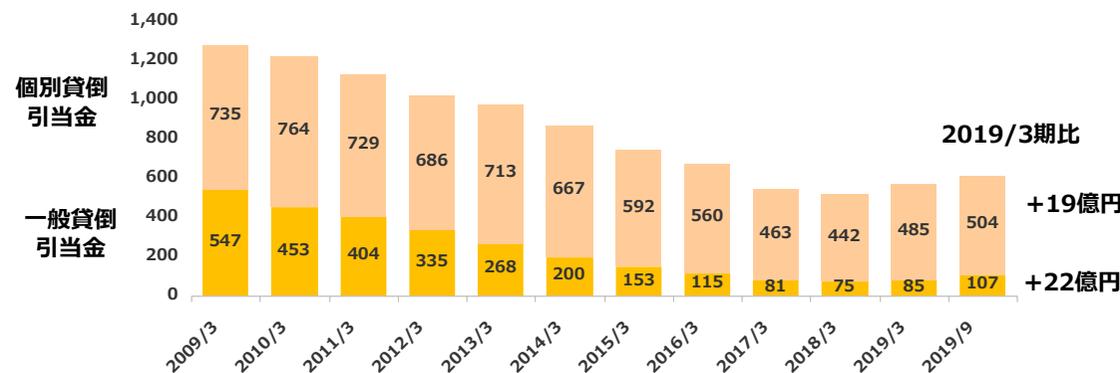
金融再生法開示債権残高(3行合算)

(単位:億円)



貸倒引当金残高(FG連結)

(単位:億円)



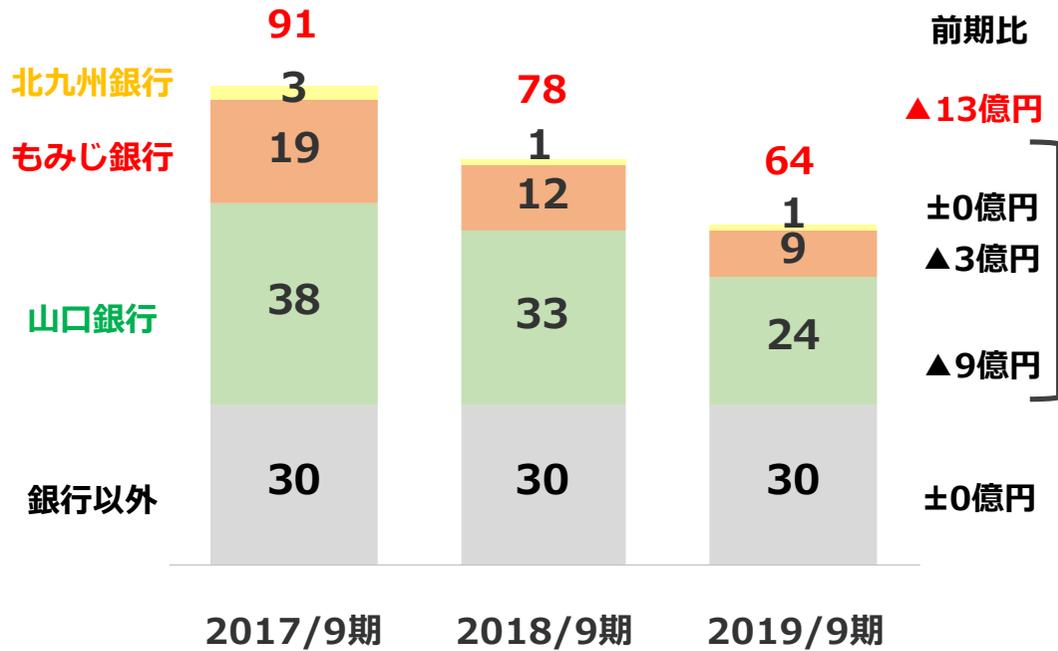
# 5) 役務関連収益

» 証券仲介手数料減少の影響等により連結役務取引等利益は▲13億円

## 役務取引等利益(FG連結)

(単位:億円)

## 変動要因

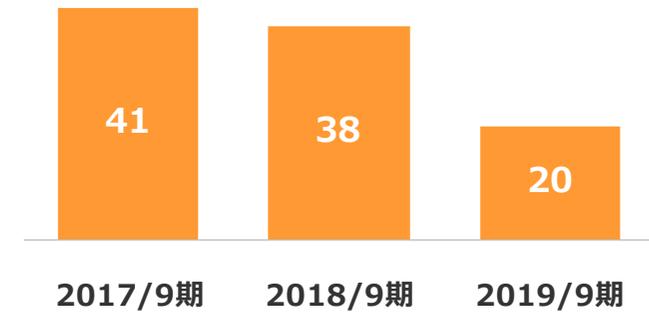


### <3行合算内訳>

- ・ワイエム証券仲介手数料 ▲10億円
- ・シンジケートローン コミットメントライン手数料 ▲1億円
- ・投信/保険販売手数料 ▲1億円
- ・団信保険料/ローン保証料 ▲1億円

## ワイエム証券営業収益

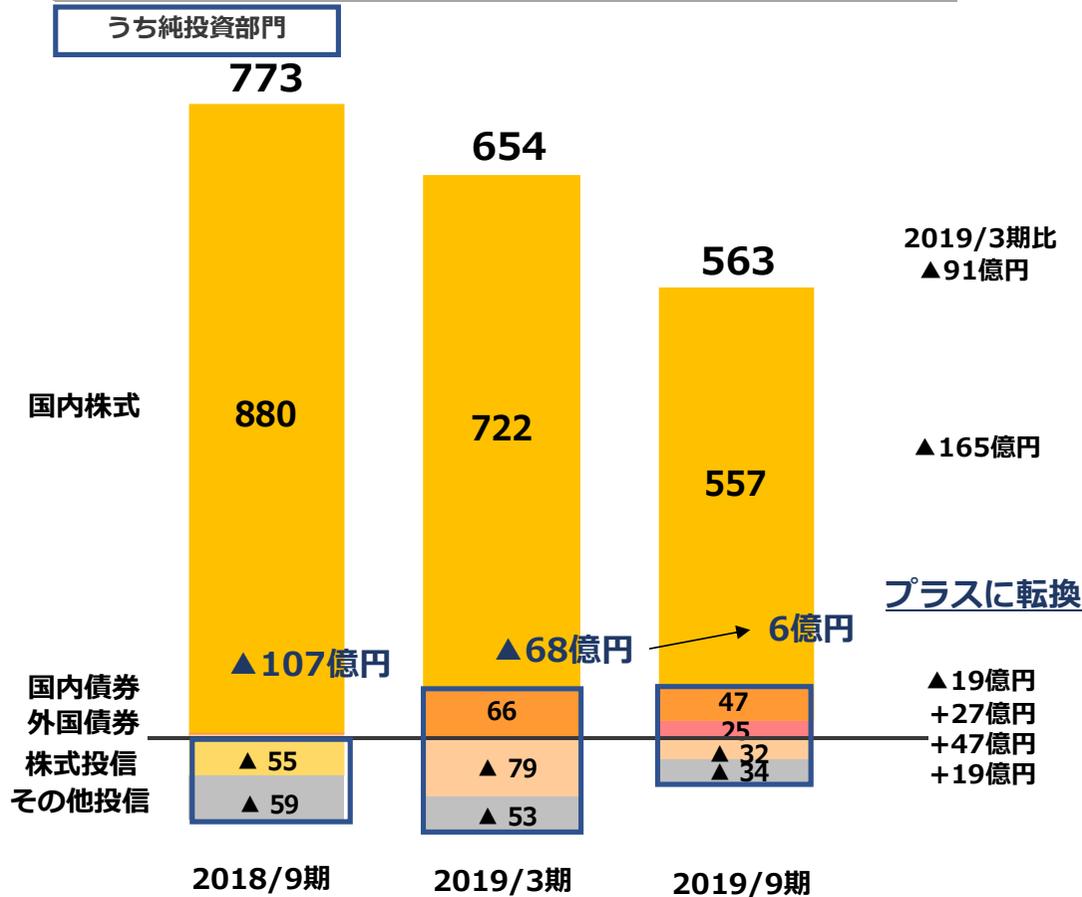
(単位:億円)



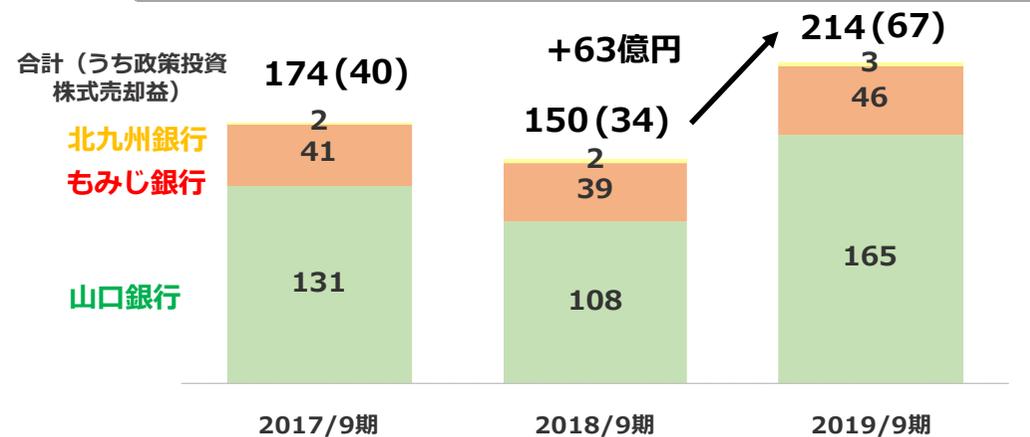
# 6) 有価証券

- 政投株売却益の計上、国内外金利の低下に伴う債券売却益の計上により、有価証券関連収益は+63億円の増加
- 純投資部門におけるその他有価証券の評価損益は、評価損益の悪化した銘柄の残高を計画的に圧縮し、プラスに転換

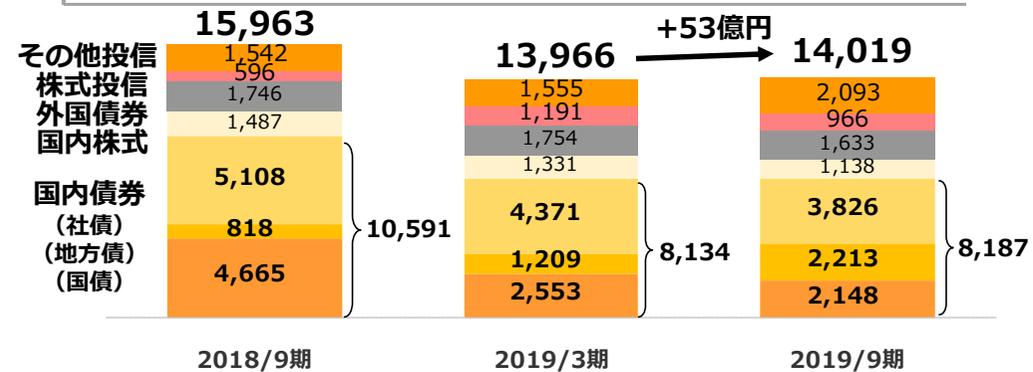
その他有価証券の評価損益(3行合算) (単位:億円)



有価証券関連収益(3行合算) (単位:億円)



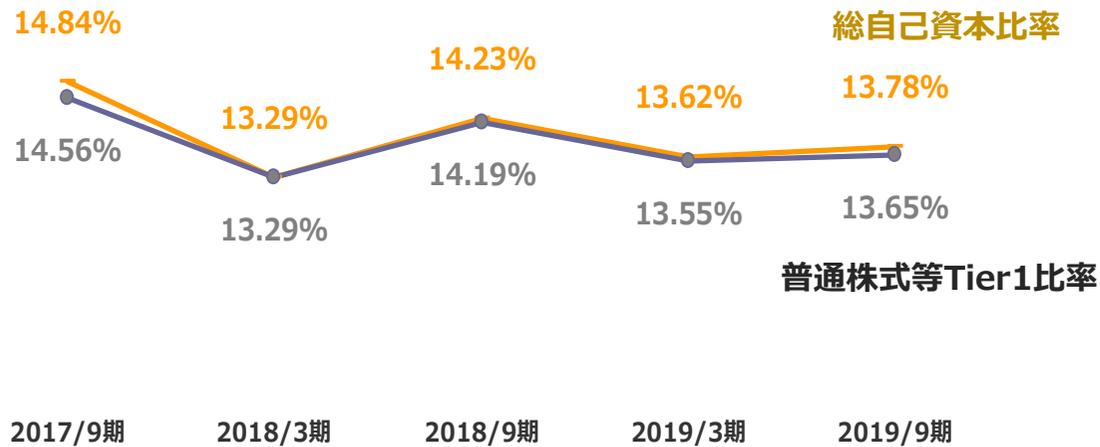
有価証券時価残高(3行合算) (単位:億円)



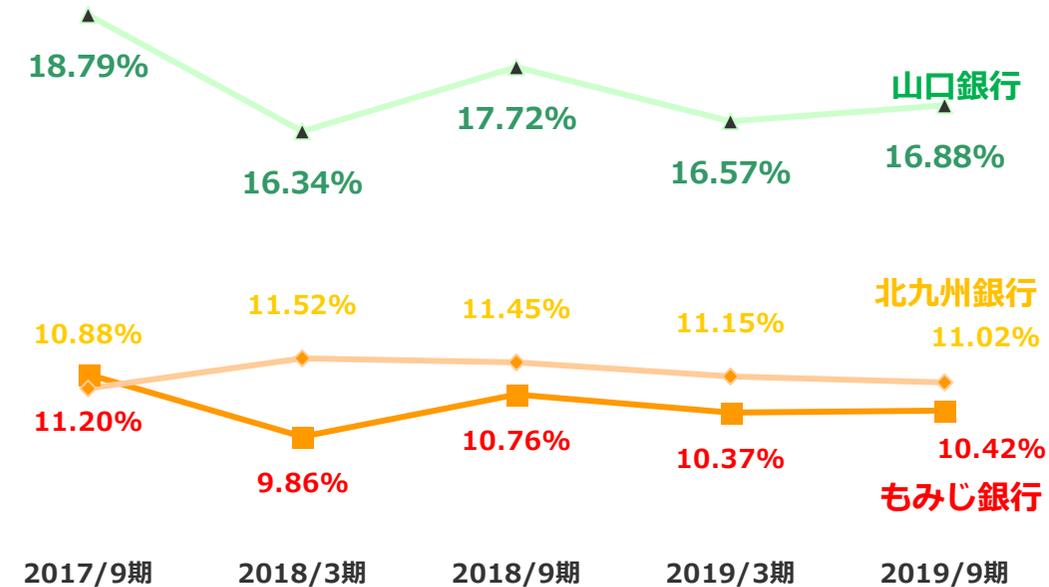
## 7) 自己資本比率(連結・銀行単体)

» 期間利益の積み上げにより、山口FGの連結総自己資本比率は13.78% (2019/3期比+0.16%)

### 山口フィナンシャルグループ連結



### グループ内銀行の自己資本比率



## 8) 2019年度通期業績予想

» 今期から開始した中期経営計画2019の推進により、経常利益400億円、当期純利益265億円を見込む

(億円)	2019年		FG連結	
	中間期	進捗率		2018年度比
コア業務粗利益	455	44%	1,015	+18
資金利益	418	49%	850	▲ 30
うち預貸金利益	355	48%	732	+24
うち有価証券利息配当金	83	58%	141	▲ 58
役務取引等利益	64	31%	203	+54
経費 (△) (臨時処理分除く)	350	49%	711	+0
コア業務純益	105	34%	304	+17
経常利益	184	46%	400	+65
(親会社株主に帰属する)当期純利益	128	48%	265	+33